PagerDuty

PagerDuty株式会社

会社説明

PagerDuty（ページャーデューティー）は、クラウド時代におけるインシデント管理とデジタルオペレーションマネジメントを牽引するグローバルIT企業です。2009年にAmazonの元エンジニア3名によって米国サンフランシスコで設立されました。創業以来、複雑化するIT環境におけるシステム障害（インシデント）にいち早く対応し、ビジネスへの影響を最小限に抑えるためのプラットフォームを提供しています。日本法人は2022年3月に設立され、国内企業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進を強力にサポートしています。

同社が提供する「PagerDuty」プラットフォームは、企業のITインフラストラクチャーや各種アプリケーション群とシームレスに連携し、システム全体から発生する膨大なアラートを一元的に集約・管理します。単なる通知ツールにとどまらず、AIと機械学習（AIOps）を活用することで、類似アラートのグループ化やノイズの除去を自動的に行い、真に対応が必要なクリティカルな障害だけを正確に抽出することが可能です。そして、オンコール当番のスケジュールやエスカレーションルールに基づき、最適な担当者へ電話、SMS、プッシュ通知、チャットツール（SlackやMicrosoft Teamsなど）を通じて確実かつ迅速に連絡を届けます。

現代のビジネス環境においては、システムダウンやサービスの中断が直ちに顧客体験の悪化や多額の機会損失に直結します。PagerDutyはデジタルエコシステムの「中枢神経系」として機能し、インシデント発生から解決までの平均時間（MTTR）を大幅に短縮させることで、企業のオペレーショナル・レジリエンス（運用回復力）を高めます。現在、同社のプラットフォームはFortune 100企業の65%を含む、全世界21,000社以上の顧客に導入されており、IT運用チームや開発チームのみならず、カスタマーサポートやセキュリティ、経営層に至るまで、全社的なインシデント対応の迅速化に貢献しています。柔軟な働き方が求められる現代において、エンジニアの負担や精神的疲労（アラート疲れ）を軽減し、より創造的な開発業務に注力できる環境を提供するという点でも、極めて社会貢献度の高い事業を展開しています。

会社概要

本社所在地
アメリカ合衆国

事業内容
システムのインシデント対応を一元化し、自動化と機械学習を通じてシステム障害の迅速な検知・解決を支援するインシデント管理プラットフォーム（デジタルオペレーションプラットフォーム）の開発・提供。

代表取締役
山根 伸行

設立年
2022年

資本金
9,000万円

従業員数
11 - 50人

URL
https://www.pagerduty.co.jp/

オフィス情報

メインオフィス
〒1076218
東京都 港区 赤坂9丁目7-1
東京ミッドタウン ミッドタウン・タワー18階